

諫早出身の脚本家

# 市川森一

1941~2011年  
(昭和16~平成23)



昭和16年諫早市生まれ。日本大学芸術学部卒業後、昭和41(1966)年『快獣ブースカ』第4話「ブースカ月へ行く」で脚本家としてデビュー。それ以降、円谷プロのウルトラマン・シリーズや『コメントさん』などの子ども向け番組のほか、大人向けドラマも執筆し、昭和49(1974)年『傷だらけの天使』で広くその名を知られるようになる。昭和53(1978)年にはNHK大河ドラマ『黄金の日日』を執筆、大谷竹次郎賞受賞。昭和57(1982)年『淋しいのはお前だけじゃない』で第一回向田邦子賞を受賞。それ以降も、「東芝日曜劇場」、人気シリーズ「モモ子」など多数のドラマや特別番組の脚本を執筆。

また、故郷長崎への郷土愛が深く、諫早図書館名誉館長、長崎歴史文化博物館名誉館長などを歴任。諫早図書館ふるさとの文人コーナーには、「市川森一シナリオルーム」があります。



《諫早市ゆかりの作品》  
『親戚たち』(1985年フジテレビドラマ)  
《長崎県ゆかりの作品》  
『夢暦長崎奉行』(1996年NHKドラマ)  
『長崎ぶらぶら節』(2000年東映映画)

## 森一忌

諫早が生んだ脚本家・市川森一を偲び、毎年11月最終土曜日に、文化ホール諫早パルファンで開催されています。市川作品の上映会やゆかりのイベントが行われています。



諫早出身の芥川賞作家

# 野呂邦暢

1937~1980年  
(昭和12~昭和55)



昭和12年長崎市生まれ。戦時中諫早市に疎開し、移住。昭和31(1956)年諫早高校卒業後上京、転々と職を変え、昭和32(1957)年佐世保相浦陸上自衛隊に入隊し北海道に駐屯。病のため除隊後、諫早に帰郷する。自衛隊体験小説『草のつるぎ』で昭和48(1973)年、第70回芥川賞を受賞。諫早に作家生活の根を下ろし、その風土の歴史を取材した長編小説『諫早菖蒲日記』『落城記』などを発表。大成を期待されたが、42歳の若さで亡くなる。著書に、『白桃』(1967)、『海辺の広い庭』(1973)、『鳥たちの河口』(1973)、『草のつるぎ』(1974)、『一滴の夏』(1976)、『諫早菖蒲日記』(1977)、『落城記』(1980)など。

《諫早市ゆかりの作品》  
『諫早菖蒲日記』

## 菖蒲忌

諫早市を拠点に活動した芥川賞作家・野呂邦暢を偲び、毎年5月最終日曜日に諫早市美術・歴史館で開催されています。「菖蒲忌」は、代表的作品『諫早菖蒲日記』と亡くなった5月に咲かせる菖蒲にちなんで命名されました。格調高い文章表現から「野呂文学」とたたえられた作品の朗読などもあります。



● コースに関する問い合わせ先

2018年3月

諫早市 商工観光課 Tel.0957-22-1500 Fax.0957-22-2462

● 新たな魅力を発見したら、こちらまで

(一社)諫早観光物産コンベンション協会

Tel.0957-22-8325 Fax.0957-22-8354  
www.isahaya-kankou.com

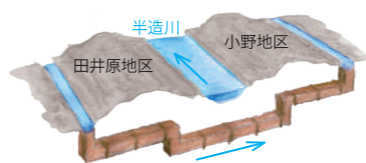


## 小野用水・底井樋廻水

小野用水は、諫早公園近くの本明川の山下淵から市街地を流下し、諫早平野まで続く約8kmの歴史ある農業用水路で農業用水はいつも満々と流れていました。

一方、半造川を越え東に開かれた干拓地ではいつも干ばつの被害に苦しんでいました。その解決策として、文化10(1813)年に諫早家臣で堤の土手の修理をする技術者である青木弥惣右衛門らによって設置されたのが底井樋廻水です。半造川の川底に樋管を埋め、両端の水圧で水を通す、木管樋管の逆サイフォン方式で、当時では画期的な方法でした。

この工事のおかげで干拓地は豊かな水田に生まれ変わりました。戦後はコンクリート製になり、また諫早大水害後は川の拡幅工事により作り変えられています。原理は200年前のまま現在に受け継がれています。



## 諫早湾干拓700年の歴史

阿蘇山の噴火で海に流れ込んだ火山灰が、有明海の反時計回りの潮流により諫早湾に運ばれ、干潟が形成されました。潮の満ち引きで年間約6cmずつ堆積し、約700年の長い時をかけて干拓によりできた諫早平野は3500ヘクタールにも及び、県最大の穀倉地帯となりました。本明川の下流域から干拓地までの水辺の道を歩くこのコースで、干拓700年の歴史を体感ください。



## 干拓の歴史は学芸員の川内さんに!

諫早市美術・歴史館専門員。日本民具学会会員、諫早史談会会員、専門は民俗学。干拓地の暮らしや諫早湾漁撈等民俗等を調査。著書『干潟と干拓』など。

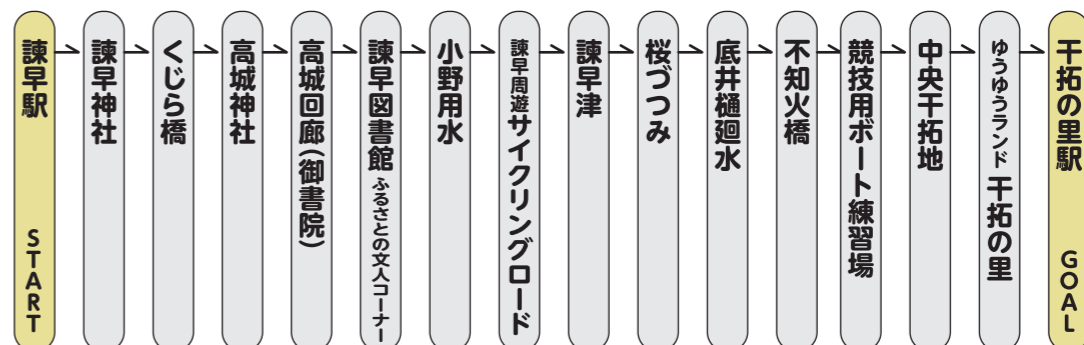


川内知子 学芸員

【お問合せ】諫早市美術・歴史館  
諫早市東小路町2番33号 Tel.0957-24-6611



テーマ: 水辺の道 スタイル: タウンウォーク・街歩き 所要時間: 約4時間半 距離: 16km



平坦



ENJOY!  
Walking  
IN ISAHAYA  
諫早を歩く

# 2

見どころ  
諫早神社・クス群、  
中央干拓地 など

おすすめの季節  
春・夏・秋・冬



脚本家市川森一の原風景  
「諫早干拓地」を訪ねるみち  
創作の源 諫早湾干拓700年 創造と歴史の風に吹かれて

本明川から諫早平野へ水辺の平坦な道をたどります。東に諫早干拓地、西に市街地、南に雲仙岳、北に多良岳。春は桜、夏はヒマワリ、秋はコスモス、冬は渡り鳥。360度のパノラマと四季の彩りをお楽しみください。



# 1 諫早神社

神亀5(728)年に創建され、四面宮と呼ばれ人々に親しまれてきました。境内の大クスがクス群として県の天然記念物に指定されています。



## 周辺スポット 御館山稲荷神社

御館山は標高99mの都市公園で、源為朝が頂上に館を築いたためこの名がついたと伝えられています。初日の出のスポットとしても有名です。



# 2 くじら橋

本明川を遊泳していた鯨が光江の水門から迷い込み、現在の市役所付近に現れたことからその名がついたと言われています。昭和32年諫早大水害後に諫早公園内に移転されました。



# 3 高城神社

神社の祭神は諫早初代龍造寺家晴公で、明治15年に創建されました。諫早大水害で大破したため、昭和35年に現在地に移築されました。



# 4 高城回廊(御書院)

高城回廊は市役所、高城公園、諫早公園周辺を一周する約1.3キロの光と水と緑の散策路です。御書院は、桃山様式の池泉廻遊式庭園として心字池を中心に建てられました。



# 5 諫早図書館

ふるさとの文人コーナー「市川森一シナリオールム」

諫早図書館1階で郷土作家等の作品や遺品等を展示したコーナーの一角にあります。部屋の中は、生前市川名誉館長が利用されていたところのまま残してあります。



## 周辺スポット 市川森一墓所

2011年12月10日に70歳で亡くなった脚本家市川森一さんの墓所が徳養寺にあります。

# 6 小野用水

山下湖から高城回廊、市街地を流下し諫早平野まで続く約8kmの農業用水路です。諫水百選に県内で唯一選ばれています。



# 7 諫早周遊サイクリングロード

長崎県立総合運動公園の東端を起点として半造川、本明川、諫早津を通って親和銀行諫早支店裏の終点まで水辺を走る全長6.2キロのサイクリングロード。



## 周辺スポット 野呂邦暢 終焉の地

芥川賞作家 野呂邦暢が執筆活動をした住居跡が近くにありま。

# 8 諫早津

江戸時代、長崎から陸路長崎街道を通り、諫早津から有明海を渡り、佐賀へと海路が続いていました。港の堀割が残る、陸地の先端部。ここから先は干拓地です。



# 9 桜づつみ

全長約1キロに約500本の八重桜がある人気の花見スポット。年間を通してウォーキングやジョギングも人気です。 **見どころ** 桜、渡り鳥



# 10 底井樋廻水

約200年前半造川の川底を横断し、干ばつに苦しむ干拓地に水を通した技術です。詳細は裏面をご覧ください。



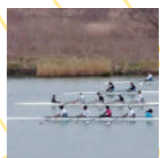
# 11 不知火橋

国道57号と207号を結ぶ県道124号線の本明川に架かる橋。秋には河川敷がピンク色に染まります。 **見どころ** コスモス



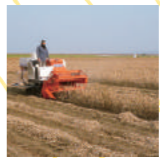
# 12 競技用ボート練習場

ボート競技練習場として8コース相当の川幅と3,000mの直線コースが確保でき、全国でも有数の規模を誇ります。



# 13 中央干拓地

360° 諫早を見渡せるパノラマスポット。大規模な農地で、減農薬・減化学肥料による環境に配慮した環境保全型農業が行われ、1年を通して安心・安全な農作物が生産されています。 **見どころ** ヒマワリ、渡り鳥



# 14 ゆうゆうランド 干拓の里

大型遊具やむつころう水族館、馬事公園、市指定文化財「旧早川家住宅(庄屋敷)」、干拓資料館、そば打ち体験等学んで遊んで大満足のレジャー施設。広大な干拓地のガイドも承ります。ガイド内容等は要相談。事前にゆうゆうランド干拓の里へお問合わせください。 **施設情報** 諫早市小野島町2232 TEL 0957-24-6776 営業時間/9:30~17:00 休/月曜(祝日の場合は翌日)、12/30~1/1 料金/大人(高校生以上)300円、小人(小中学生)200円、幼児(3歳以上)100円



## 立ち寄りスポット

**つかさ本舗**  
おこし  
諫早市永昌東町5-5 0957-22-2380

**古賀饅頭店**  
菓子店  
諫早市東小路町11-13 0957-22-1628

**力寿司**  
寿司  
諫早市東小路町12-16 0957-22-1468

**カキュー**  
洋菓子店、喫茶店  
諫早市栄町1-15 0957-24-2764

**宮田食堂**  
ちゃんぽん  
諫早市厚生町7-7 0957-22-0682

**杉谷本舗 本店**  
おこし  
諫早市八坂町6-10 0957-22-2306

**菓秀苑 森長 八坂本店**  
おこし  
諫早市八坂町3-10 0957-22-4337

**よかもん市(干拓の里)**  
農産物直売所  
諫早市小野島町2232 0957-23-8055

**りよぞぶふ**  
肉料理  
諫早市小野町358

**うどん華 諫早店**  
うどん  
諫早市小野町401-4 0957-22-6761

**眞崎菓子舗**  
菓子店  
諫早市宗方町345-1 0957-22-0865

## 諫早名物『諫早おこし』

おこしは「身を興し、名を興し、家興し」のことわざ通り縁起の良いお菓子として米どころ諫早では200年以上前の江戸時代から食べられている伝統的な銘菓です。



## 中心部拡大図

★印18箇所

**のんご諫早まつり**  
時期: 毎年9月中旬  
場所: 市役所前中央交流広場

諫早最大の市民総参加のまつり。約6,000人が血を打ち鳴らす郷土芸能「血踊り」を踊りながら街を練り歩きます。

**いさはや灯りファンタジア**  
時期: 毎年11月下旬  
場所: 市役所前中央交流広場

地上をうめつくす約1万個の灯明による巨大地上絵と約20万個の電飾イルミネーションで彩る幻想的な冬のライトアップイベント。

**脚本家市川森一の原風景「諫早干拓地」を訪ねるみち**

創作の源 諫早津干拓 700年 創造と歴史の風が吹かれて

